

SDGs と“甲友会の指針”との関わりをご紹介します

甲友会が取り組む SDGs

SDGs は 2015 年 9 月 25 日、150 を超える国連加盟国による総会決議にて採択された、持続可能な開発目標です。あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処しながら、2030 年までに「誰一人取り残されない」世界を実現するため、次のような 17 の目標と 169 のターゲットが掲げられています。



社会医療法人甲友会は「医療と福祉の連携により質の高いサービスを提供し、地域の人々の健康で幸せな暮らしに貢献する」ことを理念とし、兵庫県西宮市における医療・福祉に取り組んでいます。SDGs が掲げる 17 の目標の中には、当法人の取り組みと重なる部分があります。なかには直接当てはまらないものもありますが、すべての人・環境にやさしい世界を目指し、スタッフの一人ひとりが SDGs の理解に努め、取り組んでまいります。



社会医療法人 甲友会

理事長 大村武久

医療と福祉の連携により質の高いサービスを提供し、 地域の人々の健康で幸せな暮らしに貢献する。



≫ 地域包括ケアシステムを推進、安全で最適な医療・福祉を 24 時間 365 日提供します

- 住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期までつづけることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体に提供する地域包括ケアシステムを推進。地域の医療機関、在宅医療、介護施設と手を取り合い、突然のけがや病気でも悩まない医療・福祉を 24 時間 365 日提供しています。
- 包摂的で持続可能な産業を推進すべく、最新のテクノロジーを積極的に導入。ロボットリハビリテーションや VR リハビリテーションを活用するなど、最先端の医療・リハビリテーションを提供します。
- 入院中から在宅まで、積極的な栄養管理を応援します。NST（栄養サポートチーム）による入院患者さん 1 人ひとりに見合った適切な栄養管理、フレイル対策、サルコペニア対策、廃用症候群予防、骨リボン運動チームによる骨粗しょう症予防、在宅栄養支援など、患者・利用者・入居者さまがいつも安全かつ充分で栄養のある食事をとることができるよう、栄養管理を行います。
- 認知症ケアチーム（DCT）の活動を通じ、早期からの認知症ケアに取り組みます。
- ホームページや広報誌、直接参加型の講座などを通じ、地域社会の人々が自らの健康の維持・増進に主体的に関わることができるような、パブリック・リレーションズ（PR）を推進します。

≫ 経済的にも安心して受けられる医療環境をつくります

- 入院・退院に関わる経済的不安や将来の心配を専属の社会福祉士がサポートします。

≫ オリジナル製品の開発に努めます

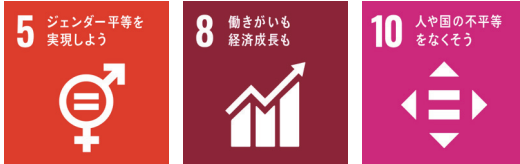
- 西宮協立リハビリテーション病院では「おしりスルッとパンツ」を共同開発しました。医療・福祉の進歩・発展のため、協力する姿勢を大切にします。

≫ 行政や地域の団体と連携を深めます

- 予防から看取りまで、その人らしさを大切に考えます。望む暮らしを住み慣れた地域で実現できるよう、医療・福祉を通じてサポート。地域に必要な不可欠なインフラとしてまちづくりに参画しています。
- 地域のさまざまな専門職・専門機関・住民の方々との連携・協働を通じ、すべての人が自分らしく健康で幸せに暮らすことができる社会の実現に貢献します。
- 西宮市からの委託を受け、西宮市瓦木在宅療養相談支援センターを展開しています。

≫ 社会医療法人としてコンプライアンス・ガバナンス体制の強化を推進します

働きがいのある職場づくりを推進する。



≫ 女性職員の活躍を積極的に支援、管理職として多くの女性職員が活躍しています

- 保育所・産休・育休(男性職員も育休取得実績あり)を推進しています。
- 産休・育休後、スムーズに職場復帰できるよう、個々の状況に合わせたサポートを行います。
- 公平な人事考課を実施。管理職の半数以上が女性となっています。

≫ 多様な働き方を推進します

- 障がい者雇用を推進しています。
- 外国人雇用を推進しています。

≫ 働き方改革を推進します

- 長く働きつづけられる職場環境整備を推進しています。

≫ 働きがいのある職場を目指します

- 治療成績の向上、日本医療機能評価機構による認定、人事制度確立、各種表彰制度などを通じ、日々のモチベーションアップを図ります。
- 職員満足度調査、ハラスメント相談窓口の設置、連携委員会による施設間の連携推進、職員提案制度、5S の取り組みを表彰など、スタッフの声を広く集める取り組みを実施しています。

≫ たがいに人格と個性を尊重し支えあう共生社会の実現を目指します

- 多様な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、たがいに理解を深め支え合う「心のバリアフリー」を推進。入職時より「人権」に関する研修を実施するなど、外国人・障がい者の人権の尊重をテーマとした人権啓発活動に積極的に取り組みます。
- すべての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合うソーシャル・インクルージョンを推進します。

教育、研究の充実を推進する。



≫ 国内外での学会発表や、各所属・委員会主催の法人内研修会、外部研修参加を促進します

≫ 学習支援と資格取得支援を整備しています

- eラーニング活用による、教育・自己学習を支援します。
- 認定看護師や介護福祉士の資格取得を支援。働きながら学ぶことができる機会を提供しています。
- 看護師養成校に在学中の方を対象に看護師奨学金制度を設けています。

≫ 「質の高いサービス」を提供できる人財を育成・輩出し、地域に貢献します

- 社会医療法人甲友会にとって、スタッフの存在は最も大切な財産です。すべての人々を人生の最期まで支えるために必要な、各専門職種のスキル向上に努めます。
- 効果的なジョブローテーションや階層別研修、教育サポートなど、成長しつづけることが可能な環境整備を推進します。
- 研修医・看護師・セラピストなど各職種の実習、研修を積極的に受け入れています。

≫ 地域の方が医療・介護を学べる機会を提供します

- キッズトライアル(小学生向け職業体験)や市民講座など、地域の方々と関わりながら医療・介護を学べる機会を提供します。

災害対策と環境保全に取り組んでゆく。



》災害に強い設備・制度の充実を推進します

- BCP(事業継続計画) マニュアルの整備を推進しています。
- 災害を想定した対策訓練を定期的 to 実施しています。
- 災害時には公的避難所として、西宮協立脳神経外科病院・西宮協立リハビリテーション病院の一部を西宮市に提供できる仕組みをつくりました。近隣住民の災害時一時避難場所として提供します。
- 食料供給が滞った場合も、安定的に医療・介護を継続できるよう3日分の非常食を備蓄しています。
- 西宮協立脳神経外科病院には独自に地下水利用設備を設置。院内で利用する水の約9割で活用しています。

》地球温暖化対策、徹底した省エネルギーを推進します

- ASSET事業(省エネ、省CO2)、ESCO事業(投資の計画から管理まで)を推進します。
- 医療廃棄物を高度に分別しています。
- 洗剤排水による水質汚染防止対策を実践しています。
- さらなるIT活用を進め、ペーパーレス化を推進します。

》環境保全の一環として植栽、庭園を整備しています

- 西宮協立リハビリテーション病院は甲山の中腹に位置し、豊かな自然に囲まれています。そうした環境を活かし、敷地内には「いいいの庭」を整備。また、西宮協立脳神経外科病院においても屋上庭園を整備しており、入院中の患者さんのリハビリテーションなど活用されています。